

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑
 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300
 FAX：054-647-2040
 E-mail：club1972@fujieda-rotary.org



2016-2017年度 R1テーマ
人類に奉仕するロータリー

会長：鈴木 舜光 副会長：大長 昭子 幹事：島村 武慶 副幹事：大塚 高弘
第2161回 職場訪問例会／焼津信用金庫
 トソング…それこそロータリー トソングリーダー…青島 鉄男君

■ **会長報告**

鈴木 舜光君

人間誰しも少しは欲があります 地位であったり お金であったり・・・ 執着があるものです



私の先輩で ある 役を一緒にやっていた かなり長くやっていたし会長もやったので 表彰の対象になっていました

しかし 自分よりも 経験年数の少なかったり 会長をやったことのない人が 先に 表彰を受けてしまいました その方は 自分が先に 表彰されるべきだと その関係の事務局に 文句を言いに行き 次の年に 表彰されました なんか 仲間としても すっきりしない ですね 結局 私が発起人で 祝賀会をやりました

私が 父(師匠)から教わったことは 自分で偉くなるな 人に偉くしてもらえ でした

お寺は どんな大きな寺でも 必ず 本寺 末寺があります 末寺が本寺に行く行事もあります そんなときに 必ず座る場所が決まっています 私が代理で行ったときに 出かける前に 言われた言葉です そのお寺の座る場所が 大まかな位置が決まっています 私の寺の座る場所が かなり上座だったんですね

決して 自分から上座に座るな その時が来れば 必ず上座に座らせてくれる

今では 師匠の言うとおりに 自分の座るべき場所に 座っています

人間 自分から偉くなつては 駄目ですね

■ **幹事報告**

島村 武慶君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より ハイライトよねやま 200 が届きました。
- ・関東ブロック商工会議所青年部連合会 会長 渡部晋様より日本商工会議所青年部 第36回 関東ブロック大会しずおか藤枝大会ご臨席のお礼が届きました。

■ **出席報告**

土屋 富士子君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
28/42 66.67%	29/42 69.05%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 池谷君 ○大杉君 ○大塚高君 ○落合君
- 櫻井君 ○杉山君 ○菅原君 ○仲田君
- 松田君 ○柳原君 玉木君 大長君
- 村松英君 渡辺君

(2)メイクアップ者

- 青島 鉄男君(焼津南) 大塚 博巳君(焼津)

■ **スマイルBOX**

土屋 富士子君

- ・藤枝市より教育振興功労賞を頂きました。光栄です。 鈴木 舜光君

スマイル累計額 82,432円

●● 職場訪問例会〈焼津信用金庫〉 ●●

焼津信用金庫
理事 営業統括部長
青島 鉄男君



「当金庫の地域活性化策の取組みについて」

1. 焼津信用金庫の紹介（概要・創業経緯等）

- ・現在、静岡県中部志太地域（焼津市・藤枝市）を主に営業基盤として、静岡市・牧之原市・吉田町に29店舗で事業展開している
- ・全国でも有数の水揚げ高を誇る焼津港を背景に、水産業・水産加工業を基盤として発展し、明治41年6月、当金庫の前身である焼津生産組合が設立された
- ・当時、焼津の漁労者は手漕ぎ船（八丁櫓）で近海を中心にかつお漁を行っていたが、漁場や漁獲量に限度があることから、安全度が高い石油発動機船が必要となった
- ・焼津生産組合は15トン級4隻と30トン級2隻の石油発動機船を設備し、これを組合員に賃貸することから事業が開始され、これが現在の漁業のまち焼津を築く礎になった
- ・昭和26年10月、焼津信用金庫に組織変更し、地元では焼津信用金庫と言うよりも「まるせい」と呼ばれており、これは、焼津生産組合の「屋号」に由来している
- ・全国の金融機関でも屋号のある金融機関は非常に珍しいと言われている

2. 地域金融機関の役割（地域活性化・地域密着型金融）

地域活性化・地域密着型金融の取組み
地域経済の活性化に貢献して、自らも発展できるような組織・活動を行っていく。

(1) まるせいビジネススクール

① 未来経営創生講座

若手経営者または後継者がマネジメント実務を学ぶ講座を開催。

② ものづくり管理者養成講座

工場管理者または管理者候補が生産管理の理論と実践的手法を学ぶ講座を開催。

(2) まるせい経営セミナー

取引先経営者または従業員を対象とし「身近で役立つ情報」を提供することが目的。

(3) 若手社員研修会

取引先の若手社員が社会人としての必要な資質の養成と交流が目的。

(4) ポータルサイト「まるせい千客万来.com」の運営

お客様の販路開拓や受注獲得を図る目的に、インターネット上にポータルサイト「まるせい千客万来.com」を運営。

(5) 税務無料相談会・法律無料相談会の開催。 「まるせい総合相談センター」「藤枝相談プラザ」では、交互に毎月1回税理士による税務相談会、弁護士による法律相談会を開催。

(6) 金融経済教室を開催

地域の小学生を対象に授業の一環として当金庫女性職員が「金融経済教室」を開催。

3. 屋号のまち焼津・産業のまち藤枝(創業史)

- ・2014年3月、焼津市内の屋号を持つ企業（111社）の創業からの歴史や現在の屋号が使われている由来などを纏めた「屋号のまち焼津 屋号と創業史—水産編—」を発刊した
- ・2015年11月、藤枝市内の事業所（107事業所）の創業から現在に至るまでの変遷、および経営理念をまとめた「産業のまち 藤枝 創業史」を発刊した
- ・書籍発刊を機に、地域の住民や企業に地元の良さを再認識していただき、地域活性化に向けた機運を高めることを1つの狙いとしている
- ・完成した書籍は、掲載した企業・事業所は当然のことながら、地元の図書館および学校、更には全国信用金庫にも発送している
- ・掲載された企業、事業所からは「自社の経営方針を再整理する一助となった」「自社のPRツールとして活用している」などの声が聞かれる

4. 金庫100周年記念行事に伴う本部社屋建設のコンセプト

まるせいの愛称で親しまれている、焼津生まれ、焼津育ちの100年の歴史を持つ信用金庫の継承と、地域との共生を主コンセプトとした。

- ・ 歴史の継承

漁業・水産業を基幹産業とする水産都市焼津の発展の礎を築き、焼津市の歴史と共に歩んできた歴史を継承する

- ・ 環境への取組み

周辺がのどかな住宅地であることから、工事中の騒音・振動・残材の発生を抑え、工事中の環境負荷軽減に配慮し、省エネルギー手法・高効率機器を採用し、緑化などの周囲の温熱環境にも配慮した

- ・ 地域への配慮

近隣住民への威圧感を和らげると共にプライバシーにも配慮し、近隣住宅地との緩衝地帯を設けるなど、周辺環境との調和を図った

- ・ 先進的な技術

新しい設備・環境技術を採用し、設備・環境・計画共に一体となった無駄のないデザインを目指し、快適な室内環境を実現した

地域活性化支援事業での刊行物



「屋号のまち 焼津 屋号と創業史-水産編-」 「産業のまち 藤枝 創業史」

・ 牧田理事長の「地域を元気にしよう」という取組み方針のもと平成26年4月 焼津の主要産業である水産業活性化の地域に秋多く「屋号」を地域資源として捉え、冊子を発行した。
 ・ 平成27年12月 焼津市に隣り当金庫の主要商業地区である藤枝市の企業の創業史「産業のまち藤枝」を発刊した。



地域活性化支援事業
「屋号」を活用した面的再生

7

新 地域活性化支援事業
藤枝市制 60周年記念事業

藤枝のお土産PRしよう！
藤枝市 創業史
藤枝商工会議所 推奨品開発

藤枝市の企業の創業史を編纂
→ 藤枝市の産業の歴史を紐解く

8

★ 授賞



鈴木 舜光君が
《教育振興功労賞》を
授賞されました。

おめでとう
ございます



(担当／江崎晴君)